

「マイペンライ」は、タイ語で「なんでもないよ。気にしないで」の意味。アジアの人々のおおらかな心で交流が広がるようにとの願いを表現しました。

# マイペンライ 通信

編集・発行 アジア保育教育交流推進実行委員会  
(略称：大阪マイペンライ)

2010年10月10日

No. 81

TEL 072-645-7772

(森代表事務所)

FAX 06-6581-8536

(部落解放同盟大阪府連)

事務局 090-3948-8372 (稲葉)

## 子どもたち・親子と遊びを楽しんだ4日間

### 国際ボランティア貯金寄附金事業でバンコク公開保育・親子保育事業

2010年度の国際ボランティア貯金事業の第1回事業として、バンコク都および周辺の県の計6ヶ所の保育園などで「ともにあそぶ公開保育」と「親子遊び公開保育」を実施し、その後、同じ場所で「公開保育実践研修会」を実施しました。日程は9月7日に出発し、現地での現状視察や準備の後、9日から12日までが研修事業の本番で、13日には総括会議でまとめを行い、14日の早朝の帰国という強行スケジュールで、講師には稲葉清美さん(子ども情報研究センター)、西野伸一さん(今池子どもの家)、竹野起代さん(大阪市職民生支部)の3人をお願いし、当会の松尾純代とともに、無事帰国しました。この研修事業の速報をお伝えします。(速報は2頁から。写真はすべてタイ在住の瀬戸一夫さん提供)



## 大阪からラオス・タイへ

### スタディツアーに行きませんか

子どもたちが、NGOのスタッフがあなたを待っています……

2010年12月12日(日)～19日(日)早朝  
西タイコース(ターク県ターソンヤン郡)ラオスコース

今年で第16回になるスタディツアーを募集します。

大阪マイペンライは、アジアの人々との顔と顔の見える交流を進めてきました。その活動の一つが、「アジアに学ぶスタディツアー」です。バンコクのスラム、タイの農村や少数山岳民族の村、カンボジア・ラオスの農村など、絵本や教科書も乏しく、学びたくても学べない子どもたちの実態など、どの地域も日本の“豊かさ”では考えられないほどの厳しい生活です。でも子どもたちの瞳は輝き、NGOスタッフはいきいきと活動しています。そんな子どもたちや村の人々、NGOスタッフと出会う旅に出かけませんか。

今年度は西タイとのラオスの2コースを募集します。西タイは、2年度にわたり、当会が「国際ボランティア貯金配分金」の助成を受けて「研修事業」や「学生寮の建設、保育園の改修事業」を行ったところ。また、大阪市従市民生活支部も学生寮の建設支援などを行っており、事業実施後の状況を視察することを兼ねて訪れます。ラオスは今年、現地のNGOスタッフが招聘研修で来阪し、各地で交流しており、スタッフとの再開の旅でもあります。必ず、自分自身を突き動かすような体験に遭遇します。あなたの参加をお待ちしています。(実施要綱は2頁)

### 2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業へ新たな申請

9月27日に今年度の第1回実行委員会を開き、昨年に引き続いて「郵便貯金機構」に助成事業の申請を行うことを決めました。内容は2010年度の事業として実施している「公開保育・親子保育事業」の継続で、6月と2月に計12か所で公開保育研修・意見交換会を実施するものです。(申請した事業の概要は4頁以降に)

目次 ■バンコクで公開保育・親子保育事業を実施(P1) ■スタディツアーに行きませんか(P1) ■スタディツアー実施要綱(P2) ■バンコク研修事業報告(P2～5) ■2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業へ新たな申請(P4～6)

## ラオス・タイスタディーツアー実施要綱

日程 2010年12月12日(日)～19日(日)早朝  
コース Aコース 西タイ (ターク県ターソンヤン郡の村の保育園の視察、交流)  
「国際ボランティア貯金」寄附金配分金事業の視察を兼ねています。  
Bコース ラオス (農村での交流)  
両コースともタイ・バンコクのスラムを訪ね、活動するNGOと交流します。  
募集人員 20人 (各コース10人前後でグループを作ります)  
参加希望者が一方に片寄り、片方が小人数となった場合は、1コースのみの実施とすることがありますので、ご了承ください。  
参加費 Aコース とも Bコース 180,000円  
(現地NGOへの支援金、当会の取り組むサワディ基金や絵本事業への協力金がふくまれます。)  
主催 大阪マイペンライ  
協力団体 SVA (シャンティ国際ボランティア会) SAF (シーカーアジア財団)  
DPF (ドウアン・プラティープ財団)  
申込締切 2010年 11月5日 (金)  
事前学習会 2回開催  
申し込み先: 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル  
部落解放同盟大阪府連気付 大阪マイペンライあて  
FAX 06-6581-8536  
問い合わせ: 090-3948-8372 (稲葉事務局長)

### 第1回バンコク公開保育研修事業の実施について (速報)

①内容: 2年間の保育者対象の研修を踏まえ、さまざまな保育現場でこどもや親子対象の出前保育・公開保育を実践し、子どもとともに・親子一緒に遊ぶ快さを実感する機会を持つとともに、子どもや保護者へのかかわり方などを、公開保育を通して実践交流・意見交換の機会を持つ。障害児とともに保育所生活を作る快さを実践する。

#### ②日程

9月7日(火) 早朝離日、バンコク着 チュワパーンスラム・図書館視察 (スラム地域の現状を学び、図書館活動の実際を知る)

8日(水) 午前: スワンプルー保育園視察 (保育園生活を学ぶ)

午後: 研修会準備 (公開保育シュミレーション、スタッフ打合せ) クロントイスラム・シーカーアジア財団

9日(木) 電車労働組合保育園での公開保育、実践研修会・意見交流会

10日(金) ラームインター保育園での公開保育、実践研修会・意見交流会

11日(土) 午前 スワンプルー保育園での公開保育、実践研修会・意見交流会

午後 クロントイ図書館での公開保育、実践研修会・意見交流会

12日(日) 午前 鉄鋼工場労組保育園での公開保育、実践研修会・意見交流会

午後 チュラロンコン病院小児病棟 (小児病室のベッドの間の空きスペースに工作机をおいて作業。点滴をさげながらも椅子に座って活動できる子どもは、その机の周りに集まり、ベッドから降りられない子ども一人には別途の横で個別対応。1時間くらいして、隣の部屋で動揺の活動。あわせて2時間くらい病室で活動。)

13日(月) 公開保育受け入れ保育園代表と総括会議 (6箇所中5箇所の参加)

シーカーアジア財団スタッフ・マイペンライ総括会議

14日(火) 早朝帰国

#### ③派遣者の氏名 (敬称略)

講師 西野伸一 (今池こどもの家・保育士)  
稲葉清美 (こども情報研究センター・保育士)  
竹野起代 (大阪市職民生支部・保育士)  
スタッフ 松尾純代 (帝塚山大学教員・保育士)

#### ④研修事業を終えて

言葉は通じるか、子どもたちは心を開いてくれるか、親たちはどうか、あの狭い部屋で大丈夫か、不安いっぱい、ドキドキの公開保育。

そして言葉も通じないおばちゃん・おっちゃんに緊張して固まっていた子どもたちの顔が、徐々に緩み、笑みがあふれ、笑い声が響きました。

預けるだけで保育園・幼稚園に集ったり話し合ったりしたこともなかった親が子どもを連れて集まり、親子で緊張していたのが徐々に和み、子どもと笑いあい、楽しんでいる顔。

親の感想には、これからもして欲しいとの親の気持ちがたくさん表現されました。

シーカアジア財団とともに 2008 年から開催してきた研修の積み上げとして開催した公開保育。実際の保育現場で子どもと共に遊び、親子遊びを楽しむのは、言葉や文化の壁、なかなか大変でした。大阪・バンコクそれぞれ会議を行い、どのような内容を実施するか、公開保育の場所はなどなど、当日まで進捗状況を報告しながら準備を進め、現地に入った 7 日・8 日は実践場所の視察、現地スタッフとの遊び内容の確認、実際に遊びのシュミレーション、通訳の確認などなど、毎日遅くまで準備に明け暮れました。

各保育園・幼稚園で子どもたちや親子活動が終わったあとの意見交換会では「子どものあんな笑顔始めて見た」「先生と子どもの関係を考えさせられた」「遊ぶことが分かった気がする」「親子が顔見合わせて笑っていた」「子どもの誇らしげな顔、素敵だった」「親が楽しんでいた」などなど、保育教育者の驚きの意見に苦労も吹っ飛んだようでした。



2 回の子ども対象の公開保育、4 回の親子対象の公開保育を終えて 13 日の午前は、公開保育当該保育園幼稚園の代表者と総括会議。実際の保育現場での学びは大きかったと口々に評価いただき、今後の開催の依頼もされるほどでした。

大阪からの講師やスタッフたちにとっても、はらはらドキドキの保育体験、言葉や文化は違っても子どもの気持ちを受け止め遊びを楽しむ、保育の原点に立てた体験でした。

タイ日の保育教育者が互いに学ぶ機会として、今後も継続したいと互いに確認しあいました

#### 今回の公開保育を受け入れて（総括会議での感想）

電車労働組合保育所「1 歳半からの小さい子どもが多く、静かにさせる活動が中心であった。5 月にシーカアジア財団の訪問で遊ぶ活動を学んだ。そして 9 日の保育でも子どもと一緒にダイナミックに遊ぶ事に衝撃を受けた。」

ラームインター保育園「子どもがイメージを持ちからだを動かす遊び、すばらしかった。お昼寝からおきた子どもたちが、午前中の遊びを再現して遊んでいた。期待感高く、楽しみにした公開保育であった。」

スワンプルー保育園「親子のふれあいが含まれた活動。簡単な活動なのに、親子にとっても新鮮。始めに緊張をほぐすかわりが必要。」

クロントイ図書館「つもりかくれんぼ、とても面白い遊び。新聞紙のゲームを様々なルールで再度遊んだ。・言葉が通じなくても、子どもとのコミュニケーションは取れる事を学んだ。」

鉄鋼工場保育園「様々な団体が見学に訪れるが、当園が協力してもらおうことはほとんどない。ところがシーカは色々と協力を惜しまずかかわっていただき感謝している。また協力に見返り



を求めないのもシーカだけ。公開保育当日、緊張していた親子に、私が講師の皆さんを紹介すれば、少し緊張がほぐれたのではと反省しました。ひざの上や背中に子どもを乗せるなんて親にとって初めての活動、でもにこやかな笑い声、微笑が快かったと感じた証。布やシーツであんな遊びが出来ることも驚き、活用したい。」

## 2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業へ新たな申請

9月30日付で提出した新年度事業の主な内容は次の通り。

### 事業計画

#### 1. 目的

タイは東南アジアのなかで、経済発展が目覚ましい国のひとつであるが、都市と農村の格差が大きく、また大都市においても高層ビルの足元にスラム地域が広がっており、経済的理由などに基づく劣悪な子育て環境の中で子どもたちの教育の機会均等が奪われているのが実情です。

当会は、これまで大阪での子育てに関わる活動を展開してきた経験を活かし、大都市のスラム地域、少数民族の居住地域の保育園及び図書館を対象における保育・教育図書館事業の支援のため、現地 NGO と連携し、大阪への招聘研修の実施など、現地 NGO のスキルアップを図る活動を展開してきました。

また、2008年・2009年には、国際ボランティア基金配分により、バンコクのスラム地区31箇所の保育園・図書館スタッフのスキルアップを図る研修を実施してまいりました。そのなかで遊ぶ楽しさを実感し、また教材は身の回りの生活にもたくさんあることに気付いた保育者は、自らの保育園・図書館で子どもたちと共に実践しようとし始めました。また、親子関係が希薄になってきている大都市事情のなかで親子活動にも応用したいと取り組み始めました。しかしながら、いざ子ども対象に実践しようとしたとき、どのように遊びを提案すればよいか分からない、保護者へ親子活動の意義をどう伝えればよいか悩んでいるなど、保育者たちからの要求が出てきたことから、2010年国際ボランティア基金配分に基づき、子どもを対象とした公開保育、親子活動（あそび）の公開保育を実施しています。

2010年9月はじめ、今回申請に当たっての現地調査、9日から13日の公開保育の開催を通して、保育現場で保育実践をすることがいかに求められているのか痛感しました。

子ども対象の公開保育で言葉の壁を乗り越えて大阪からの講師と共に笑顔満開で遊びだす子どもの姿、子どもと共に緊張して保育園に来た保護者が、徐々にからだも心もほぐれ笑い出す姿に、当該保育園の保育者、見学していた保育者たちは、「こんな子どもの笑顔は始めてみた」「保育者と子どもの関係がとても近い」「あの親があんなに笑っている」「親子が見つめある笑顔が素敵」と感想を述べると共に、実際の活動を見る公開保育研修のすばらしさを実感していました。

2010年度公開保育の実施は10箇所、今年度公開保育の実施箇所でない保育所・幼稚園から、ぜひ次の機会にと要望があることと、バンコク内にとどまらず周辺県からの遊びの提供・親子活動（あそび）の関心も高くなっていることから、2011年度12箇所で公開保育研修を開催し、子どもが遊びを楽しむ活動、親子が心を通い合わせて活動する・あそぶ意義を多くの保育者が学べる機会を提供し、保育者のスキルアップを目指します。

#### 2. 現地の状況

2008年・2009年2年間の保育者対象の研修会の実施により、①遊びを楽しむ快さ、②身の周りにある廃材等が子どもにとってとても大事な教材になる事、③保育者が絵本を楽しみ、自分たちで絵本を作るすばらしさを実感し、2009年国際ボランティア基金配当で設立した教材開発研修センターに教材研究に通ってくる、絵本を借りに来る保育者が増えました。また保育園を訪問すると廃材を活用した教材がとても増えたことから、研修の成果があったことは明確です。

しかし、保育所見学をすると子どもは椅子に座りビデオ（子ども番組）をずーと見ているというような、遊びとはいえない活動が多くを占めていました。保育者に話をすると、どのように遊びを子どもに呼びかけたらいいのか、椅子から降りると「わー」と暴れ周り、言う事を聞いてくれないのですと悩みを打ち分けてきます。このような状況から、保育者対象の研修会だけでなく、実際に子どもを対象とする。親子を対象とする活動を行い、それを見学した保育者と保育内容について学びあう研修会の実施が求められていると考えました。

公開保育研修会の成果は、2010年中間保育でも報告しましたが、実際に子どもと共に活動する、親子と活動する公開保育、そして子どもの反応・親子の反応を見たうえでの意見交換会はとても有

意義でありました。見学者からの次の機会は、わが保育園でして欲しいという要望も多く聞かれました。

教材開発研修センター登録会員もバンコク都内、周辺県にも広がっていることから、2011年においても公開保育研修の実施が望まれています。

### 3. 全体事業

バンコク都内スラム地域を中心とした31か所の保育園・図書館に加え、バンコク都内の幼稚園や周辺県の保育園・幼稚園44か所に呼びかけ、その中から選定して合わせて12箇所、子ども・親子を対象とした遊び（からだを使った遊び、手作りおもちゃを使って遊ぶ、ふれあい遊び、リズムに乗って遊ぶなど）の公開保育研修を開催する。公開保育を開催する保育所の保育者や研修に参加する保育者・そして保護者が、子どもへの関わり方を学び、子どもが遊びを楽しんでいる姿、親子が遊びを共感している姿を実感する機会を提供し、研修会参加者と保育内容について意見交換することで、保育者のスキルアップを図る。

#### (1) 子どもを対象とした公開保育研修会・親子を対象とした公開保育研修会

教材開発研修センター登録会員保育園・幼稚園・図書館から、実施保育園・幼稚園・図書館を選考する。5月・12月の開催月前の事前調整時にバンコクにて現場視察をしながら選考・決定する。

子どもを対象とするのか、親子を対象とするのか、平日か・土日か、午前か・午後か、についても事前調整時に調整決定する。

具体的遊びのテーマについては、開催保育園・幼稚園・図書館のニーズに基づき、2008年・2009年の2年間の研修内容を土台に組立て、日本側講師と調整する。

#### (2) 公開保育研修会の意見交換会（公開保育＋保育実践意見交換会）

公開保育開催保育園・幼稚園・図書館と見学者を募る際に、公開保育見学と保育実践意見交換会参加であわせて公開保育研修会であること、見て学ぶ意義を徹底して広報を行う事とする。

公開保育開催までに日本の講師団会議を国内で行うと共に、公開保育研修に向けて訪タイ後現地視察とともにシーカアアジア財団スタッフとの研修内容のシュミレーションを徹底して実施する。公開保育研修会終了ごとに、日本側講師、シーカアアジア財団のスタッフ間において、自らの子どもへ・親子へのかかわりを振り返り、スキルアップの機会とする。

#### (3) 6月・2月の公開保育研修会終了時に総括会議

6月6箇所、2月6箇所の終了後、公開保育開催保育所・幼稚園・図書館の代表者、公開保育研修会参加者との総括会議を実施し、公開保育研修会の総括を行う。

#### (4) パネルディスカッション

2月の最終日に、2008年～2011年4年間の活動に関わった現地保育園・幼稚園・図書館からの代表者、地域住民代表（保護者代表）、シーカアアジア財団、大阪マイペンライからそれぞれ、パネラーを選出し、4年間の取り組みについて、子どもや保護者・保育者にとってどうだったか、今後のどのような活動が求められているのかを話し合う。

#### (5) テキストの作成

公開保育や保育実践意見交換会で提供した「手作りおもちゃ」や「子どもとの遊び」を図式化などしてテキストとして印刷し配布する。

### 4. 具体的日程

#### ①第1回公開保育研修会事前調整

5月3日（火）～5日（木）

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討

#### ②第1回公開保育研修会 6月

6月21日（火）	・ チュワパーン・スワンブルー・クロントイスラムの視察
22日（水）	・ シーカアアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
23日（木） ～26日（日）	・ 公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・ 現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。

27日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアアジア財団と総括会議 ・大阪マイペンライ・シーカアアジア財団と総括と次回打合せ
--------	---

③第2回公開保育研修会事前調整

12月16日(金)～18日(日)

- ・公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・シーカアアジア財団と実施箇所の選定
- ・公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討

④第2回公開保育研修会 2月

2月14日(火)	・チュワパーン・スワンブルー・クロントイスラムの視察
15日(水)	・シーカアアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
16日(木) ～19日 (土)	・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。
20日(日)	・4年間の研修事業のまとめとしてパネルディスカッション ・パネラー 研修参加者の代表 公開保育実施保育所・幼稚園・図書館から代表 シーカアアジア財団 大阪マイペンライ
21日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアアジア財団と総括会議 ・大阪マイペンライ・シーカアアジア財団と総括

**「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の成功をめざす寄附金のお願い**

(趣旨)「国際ボランティア貯金」寄附金の配分金による事業は、2008年度にスタートして以降、2009年度、2010年度と連続して配分をいただき、事業を進めてきました。これら一連の研修事業を推進するため、「国際ボランティア貯金」寄附金の配分金に加えて、自己資金として、会員の皆様からの寄附金やサワディ基金からの繰入によって補ってきました。2011年の事業継続を含めて事業実施には新たな負担が必要で、加えてバンコクの「研修教材開発センター」の今後の運営経費についても補助が必要となっています。

そこで、今後予想される費用を補うために、会員の皆様、ご支援いただいている皆様に、重ねてのご協力をお願いで心苦しいですが、これら事業の推進のための寄附をお願いさせていただきます。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

**寄 附 の お 願 い**

使用目的：タイにおけるシーカアアジア財団と協同して推進する一連の研修事業の経費  
「研修教材開発センター」の運営経費

目標額：100万円

お願い：郵便振替用紙で寄附と明記してお振込みください。

**会員(団体・個人)の皆さんへ 会費納入のお願い**

当会の活動は皆さんの会費で支えられています。2010年度の会費の納入をお願いします。(複数年の未納がある場合は分割可)

宛名シールの名前の横の数字がすでに納入いただいている年度です。郵便振替や銀行振込でお振込みください。個人の方は年間3000円、団体は年間10000円の納入をお願いします。

**郵便振替 口座番号 00910-4-18125 加入者名 アジアの保育教育交流推進実行委員会**

**銀行口座 りそな銀行 桜川支店 普通預金 口座番号 2100152**

**口座名義 アジア保育教育交流推進委員会**